

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 川澄化学工業

上場取引所 東

コード番号 7703 URL <http://www.kawasumi.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 川野 幸博

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 森山 大輔

TEL 03-3763-1153

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	23,038	—	1,911	—	1,755	—	637	—
20年3月期第3四半期	24,496	8.8	1,378	213.9	1,590	142.1	945	110.0

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	27.86	—	—	—
20年3月期第3四半期	42.58	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	38,716	28,857	28,857	72.6	1,227.24			
20年3月期	38,536	30,520	30,520	75.8	1,276.71			

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 28,089百万円 20年3月期 29,225百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
21年3月期	—	7.50	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	30,000	△4.6	2,300	76.0	2,100	56.7	800	119.2	34.95	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 — 社(社名)

除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 22,948,003株 20年3月期 22,948,003株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 59,891株 20年3月期 56,459株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 22,890,602株 20年3月期第3四半期 22,377,074株

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりです。

なお、本年度より新たに四半期会計基準等が適用されたことから、経営成績に関する定性的情報における、前年同期増減率（もしくは、前年同期の金額）は参考として記載しております。

<売上高>

当連結累計会計期間において、当社グループは、利益重視の営業にシフトする方針のもと収益改善に努めてまいりました。売上高は、国内外における不採算製品の販売圧縮により、前年同期に比べ14億58百万円減の230億38百万円（前年同期比6.0%減）となりましたが、高付加価値製品の売上増加およびタイ国子会社における為替のパーツ安の影響もあり、売上総利益は、前年同期に比べ6億18百万円増（売上総利益は9.0%改善）となりました。

国内売上高は、前年同期に比べ5億10百万円減の175億9百万円（同3.0%減）、海外売上高は、前年同期に比べ9億48百万円減の69億87百万円（同13.6%減）となりました。

<営業利益>

研究開発費の増加、業務変革のためのシステム関連費用の増加等により販売費及び一般管理費は増加しましたが、営業利益は、前年同期に比べ5億32百万円増の19億11百万円（同38.6%増）となりました。

<経常利益>

営業利益は増加したものの、為替の円高の影響を受け、為替差損を4億2百万円計上したため、経常利益は、前年同期に比べ1億65百万円増の17億55百万円（同10.4%増）となりました。

<四半期純利益>

昨年末、フレゼニウスメディカルケア AG(現フレゼニウスメディカルケアAG&Co. KGaA)ならびにフレゼニウス川澄(株)と締結していたポリスルフォン中空糸膜バンドル供給契約について、2009年12月末の契約期限をもって、それ以降の契約を更新しない旨を通知したことから、当該契約終了により発生する可能性が高いと思われる額を契約履行補償引当金繰入額として特別損失に656百万円計上したことにより、当四半期純利益は前年同期に比べ3億7百万円減の6億37百万円（同32.6%減）となりました。

<部門別売上高>

①人工透析関連部門

国内外において、不採算製品の販売圧縮を図ったこと、また、PSダイアライザーの販売本数が減少したことにより、売上高は減少いたしました。その結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ22億63百万円減の90億5百万円（同20.1%減）となりました。

②血液関連部門

白血球除去フィルター付き血液バッグが前期並みに推移いたしました。その結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ53百万円増の81億8百万円（同0.7%増）となりました。

③循環器関連部門

人工心肺用回路ならびにOEM関連のカテーテルは前期並みに推移いたしました。その他のカテーテルは減少いたしました。その結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ51百万円減の10億22百万円（同4.8%減）となりました。

④輸液他関連部門

透析用生理食塩液が好調に推移いたしました。その結果、当部門の売上高は、前年同期に比べ8億4百万円増の49億2百万円（同19.6%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億79百万円増の387億16百万円となりました。

流動資産は、主として未収入金の減少により、1億46百万円減の241億4百万円となりました。

固定資産は、主として繰延税金資産の増加により、3億26百万円増の146億11百万円となりました。

流動負債は、主として買掛金および未払法人税等の増加により、10億54百万円増の60億87百万円となりました。

固定負債は、主として契約履行補償引当金の増加により、7億88百万円増の37億70百万円となりました。

純資産は、主として為替換算調整勘定の減少により、16億62百万円減の288億57百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は74.6%となり、前連結会計年度末と比べ1.2ポイント減少しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同期に比べ5億15百万円増の95億80百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの内容は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、前年同期に比べ5億91百万円減の26億63百万円となりました。

主な内容は、税金等調整前四半期純利益が9億90百万円、減価償却費が13億93百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出したキャッシュ・フローは、3億41百万円減の17億82百万円となりました。

主な内容は、有形固定資産の取得による支出が10億13百万円、無形固定資産の取得による支出が6億19百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出したキャッシュ・フローは、20億22百万円減の6億66百万円となりました。

主な内容は、長期借入金の返済による支出が2億50百万円、配当金の支払額が3億20百万円であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年10月24日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表しました平成21年3月期の業績予想を修正しております。詳細は平成21年2月13日に別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項なし

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項なし

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、製品・商品・仕掛品については主として総平均法に基づく低価法、原材料については主として移動平均法に基づく原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたこととともない、製品・商品・仕掛品については主として総平均法による原価法、原材料については主として移動平均法に基づく原価法（いずれも貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ69百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、営業利益は44百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は50百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

当社は、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況などを見直した結果、当第1四半期連結会計期間から機械装置の耐用年数を変更しております。これにより、営業利益は40百万円、経常利益および税金等調整前四半期純利益は52百万円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

契約履行補償引当金の計上

平成20年12月19日付の取締役会において、フレゼニウス川澄(株)からの中空糸購入契約を平成21年12月末をもって終了することを決議いたしました。当該契約の終了により発生する可能性が高いと思われる負担額を当第3四半期連結会計期間末において契約履行補償引当金として計上しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,860	10,643
受取手形及び売掛金	8,220	7,205
有価証券	50	150
商品及び製品	2,497	2,799
仕掛品	678	810
原材料及び貯蔵品	2,231	1,904
その他	567	740
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	24,104	24,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,862	5,418
機械装置及び運搬具（純額）	3,031	3,592
その他（純額）	2,472	2,269
有形固定資産合計	10,365	11,280
無形固定資産	686	118
投資その他の資産		
投資有価証券	2,068	2,083
その他	1,530	844
貸倒引当金	△40	△41
投資その他の資産合計	3,558	2,886
固定資産合計	14,611	14,284
資産合計	38,716	38,536
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,449	2,600
短期借入金	52	63
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	392	182
引当金	28	272
その他	1,663	1,414
流動負債合計	6,087	5,033
固定負債		
長期借入金	750	1,000
退職給付引当金	1,750	1,382
契約履行補償引当金	656	—
負ののれん	101	—
その他	512	600
固定負債合計	3,770	2,982
負債合計	9,858	8,015

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,642	6,642
資本剰余金	6,462	6,462
利益剰余金	17,561	17,228
自己株式	△44	△44
株主資本合計	30,620	30,288
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△84	46
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	△2,445	△1,113
評価・換算差額等合計	△2,531	△1,062
少数株主持分	768	1,294
純資産合計	28,857	30,520
負債純資産合計	38,716	38,536

(2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

売上高	23,038
売上原価	15,561
売上総利益	7,477
販売費及び一般管理費	5,565
営業利益	1,911
営業外収益	
受取利息	40
受取配当金	20
負ののれん償却額	11
持分法による投資利益	47
その他	218
営業外収益合計	338
営業外費用	
支払利息	17
為替差損	402
減価償却費	33
その他	39
営業外費用合計	493
経常利益	1,755
特別利益	
固定資産売却益	6
貸倒引当金戻入額	2
特別利益合計	8
特別損失	
固定資産除売却損	11
投資有価証券評価損	101
契約履行補償引当金繰入額	656
その他	4
特別損失合計	773
税金等調整前四半期純利益	990
法人税、住民税及び事業税	525
法人税等調整額	△205
法人税等合計	319
少数株主利益	33
四半期純利益	637

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	990
減価償却費	1,393
有形固定資産除却損	11
有形固定資産売却損益(△は益)	△6
投資有価証券評価損益(△は益)	101
負ののれん償却額	△11
引当金の増減額(△は減少)	459
受取利息及び受取配当金	△60
支払利息	17
為替差損益(△は益)	148
持分法による投資損益(△は益)	△47
売上債権の増減額(△は増加)	△1,202
たな卸資産の増減額(△は増加)	△171
仕入債務の増減額(△は減少)	1,067
その他	128
小計	2,819
利息及び配当金の受取額	163
利息の支払額	△19
法人税等の支払額	△300
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	100
定期預金の預入による支出	△360
定期預金の払戻による収入	705
有形固定資産の取得による支出	△1,013
有形固定資産の売却による収入	6
無形固定資産の取得による支出	△619
投資有価証券の取得による支出	△316
子会社株式の追加取得による支出	△290
その他	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△250
自己株式の増減額(△は増加)	△0
配当金の支払額	△320
少数株主への配当金の支払額	△2
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△92
財務活動によるキャッシュ・フロー	△666
現金及び現金同等物に係る換算差額	△648
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△434
現金及び現金同等物の期首残高	10,014
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,580

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の医薬品および医療機器を製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	東南アジ ア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	21,471	1,183	383	23,038	—	23,038
(2) セグメント間の内部売上高	448	—	6,884	7,333	(7,333)	—
計	21,919	1,183	7,268	30,372	(7,333)	23,038
営業利益	1,387	103	225	1,715	196	1,911

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 米 州……………米 国

(2) 東南アジア……………タ イ

3. 会計処理の方法の変更

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1. (1)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更にもない、従来の方法によった場合に比べて、「日本」の営業利益が69百万円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1. (2)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。この変更にもない、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が東南アジアで44百万円減少しております。

4. 追加情報

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、当社は、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況などを見直した結果、第1四半期連結会計期間から機械装置の耐用年数を変更しております。これにより、「日本」の営業利益が40百万円減少しております。

[海外売上高]

c. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	米州	欧州	アジア・オセアニア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	3,749	1,000	1,051	236	6,039
II 連結売上高（百万円）					23,038
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.3	4.3	4.6	1.0	26.2

(注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。

- (1) 米州……………米国、メキシコ 他
- (2) 欧州……………ドイツ、スペイン 他
- (3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他
- (4) その他……………トルコ、サウジアラビア 他

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額 (百万円)
I 売上高	24,496
II 売上原価	17,637
売上総利益	6,858
III 販売費及び一般管理費	5,480
営業利益	1,378
IV 営業外収益	309
V 営業外費用	98
経常利益	1,590
VI 特別利益	4
VII 特別損失	29
税金等調整前四半期純利益	1,564
税金費用	592
少数株主利益	26
四半期純利益	945

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,564
減価償却費	1,466
持分法による投資利益	△57
売上債権の増減額(増加△)	702
たな卸資産の増減額(増加△)	274
仕入債務の増減額(減少△)	△27
その他	△298
小計	3,625
法人税等の支払額	△481
その他	110
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,254
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の純収支	△906
その他	△534
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,441
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	2,496
長期借入金の純収支	△550
自己株式の取得による支出	△4
配当金の支払額	△365
その他	△220
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,355
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△157
V 現金及び現金同等物の増加額	3,012
VI 現金及び現金同等物の期首残高	7,083
VII 現金及び現金同等物の期末残高	10,095

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列の医薬品および医療機器を製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	米州 (百万円)	東南アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	22,702	1,351	443	24,496	—	24,496
(2) セグメント間の内部売上高	533	—	7,825	8,359	(8,359)	—
計	23,236	1,351	8,268	32,856	(8,359)	24,496
営業費用	22,151	1,257	8,281	31,690	(8,572)	23,118
営業利益	1,085	93	△13	1,165	213	1,378

- (注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。
(1) 米 州……………米 国
(2) 東南アジア……………タ イ

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	米州	欧州	アジア・オセア ニア	その他	計
I 海外売上高 (百万円)	4,260	1,085	1,273	367	6,987
II 連結売上高 (百万円)	—	—	—	—	24,496
III 連結売上高に占める海外売上 高の割合 (%)	17.4	4.4	5.2	1.5	28.5

- (注) 1. 地域の区分は、地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な内訳は次のとおりであります。
(1) 米 州……………米国、メキシコ 他
(2) 欧 州……………ドイツ、スペイン 他
(3) アジア・オセアニア……………タイ、台湾 他
(4) そ の 他……………トルコ、サウジアラビア 他
3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の地域における売上高であります。